

高砂市 新たな学校づくり推進計画  
策定に向けたアンケート

調査結果報告書(概要版)

令和7年1月  
高砂市

## 【調査の概要】

### ○ 調査期間

令和6年10月21日(月)～令和6年11月30日(土)

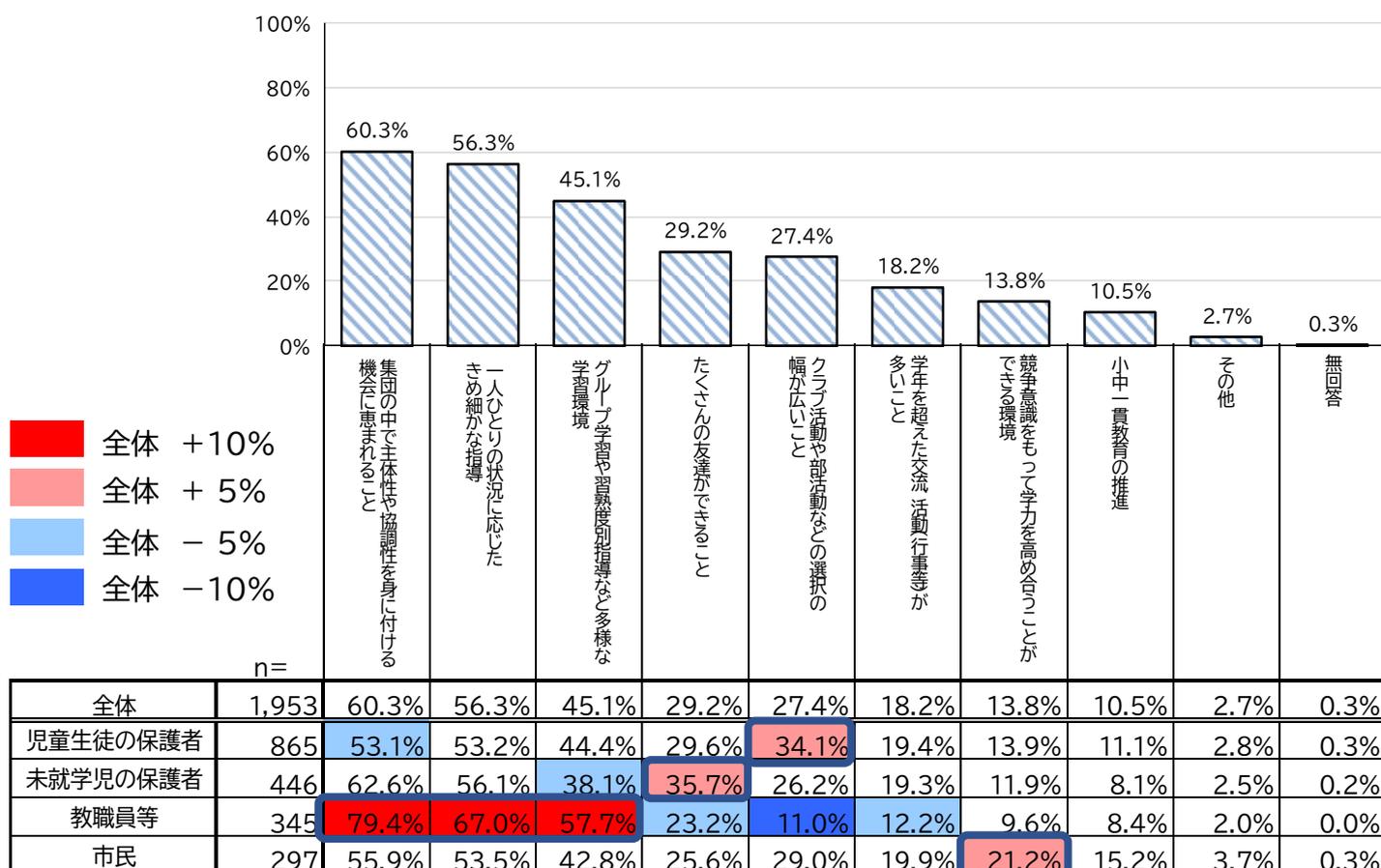
### ○ 調査対象

調査種別	対象	調査方法
小学校低学年	高砂市内の公立小学校に通う小学1～3年生	学校配布 インターネット回答
小学校高学年	高砂市内の公立小学校に通う小学4～6年生	学校配布 インターネット回答
中学生	高砂市内の公立中学校に通う中学1～3年生	学校配布 インターネット回答
児童生徒の保護者	高砂市内の公立小中学校に通う児童生徒の保護者	教育委員会配布 インターネット回答
未就学児の保護者	高砂市内の幼稚園・こども園等に通う未就学児の保護者	各園配布 インターネット回答
教職員等	高砂市内の公立小中学校に勤務されている教職員等	学校配布 インターネット回答
高砂市民	高砂市内にお住いの皆様	広報誌・HP・SNS等で 周知 インターネット回答

### ○ 配布・回収

調査種別	対象数	回答数	有効回答数	有効回答率
小学校低学年	2,088人	1,978件	1,977件	94.7%
小学校高学年	2,226人	1,906件	1,906件	85.6%
中学生	2,337人	1,372件	1,372件	58.7%
児童生徒の保護者	5,300世帯	868件	865件	16.3%
未就学児の保護者	1,900世帯	446件	446件	23.5%
教職員等	453人	345件	345件	76.2%
高砂市民	-	299件	297件	-

## ● 学校教育で重視して欲しいこと(3つまで)



### 【属性別でみた高い項目】

- ・ 児童生徒の保護者は“一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導”などを重視している。
- ・ 未就学児の保護者と市民は“集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること”などを重視している。
- ・ 教職員等は“集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること”や“一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導”などを重視している。

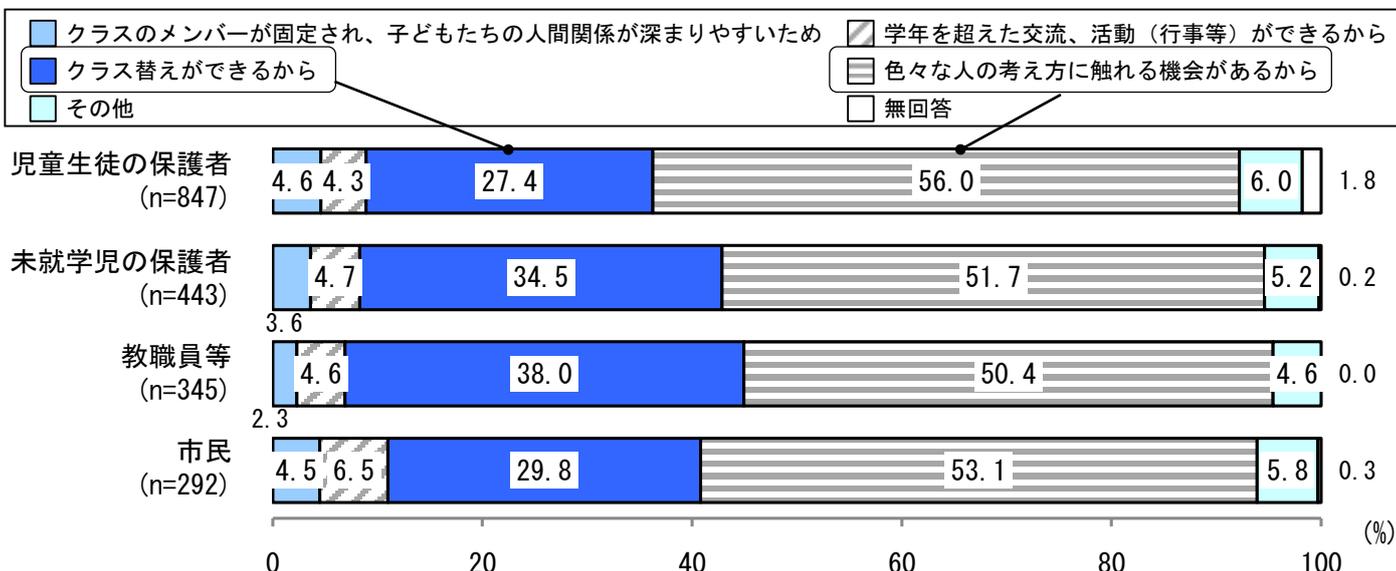
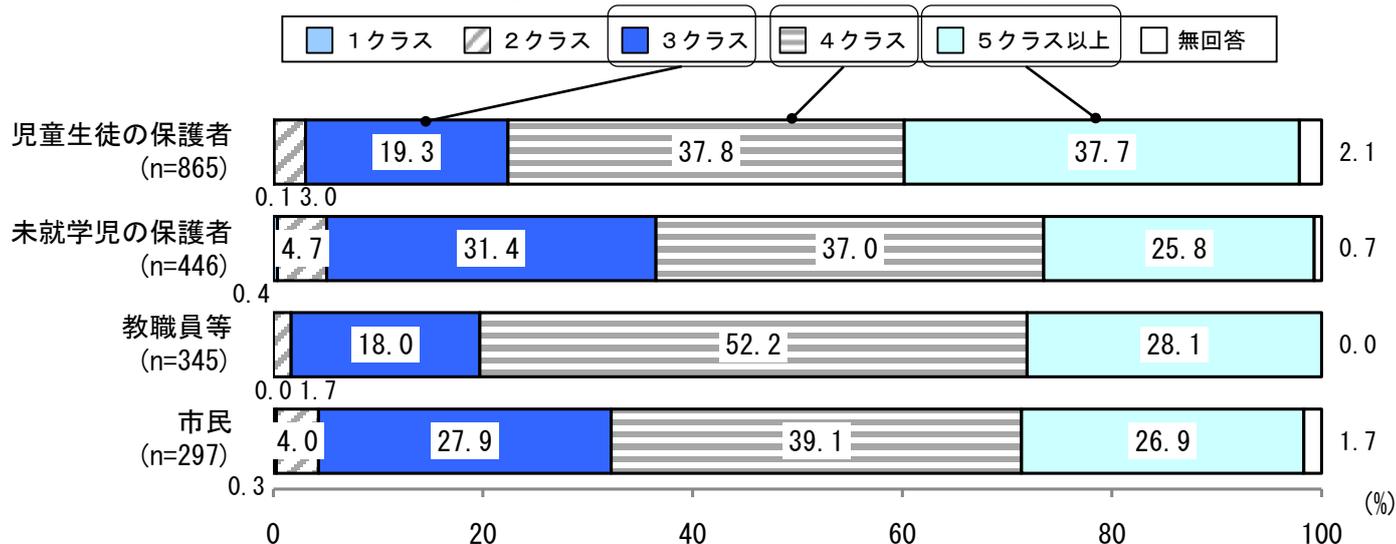
### <まとめ>

- ・ 全体では、「集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること」、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導」、「グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境」の順に割合が高くなっており、特に教職員等はこれら3つを重視していることがわかる。
- ・ 未就学児の保護者は、他の属性に比べて「たくさんの友達ができること」を重視している割合が高い。
- ・ 教職員等では、「クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと」の回答割合が他の属性に比べてかなり低く、児童生徒の保護者の方がクラブ活動や部活動を重視している割合が高い。



# ●中学校の最適なクラス数とその理由(当てはまるもの一つ)

中学校



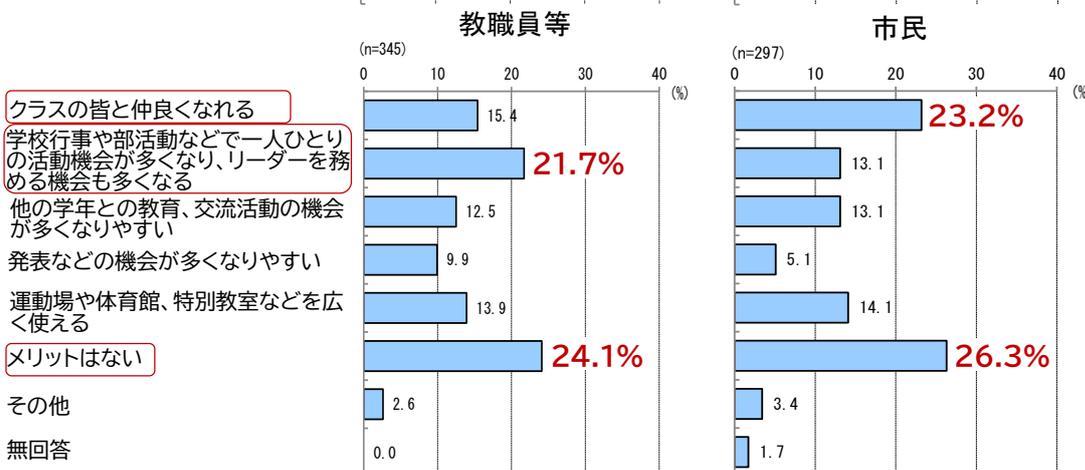
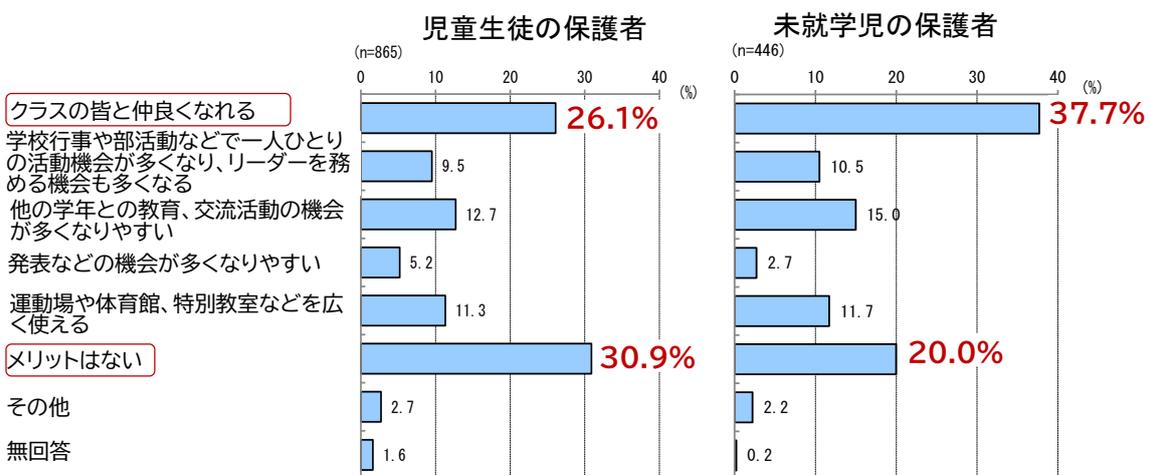
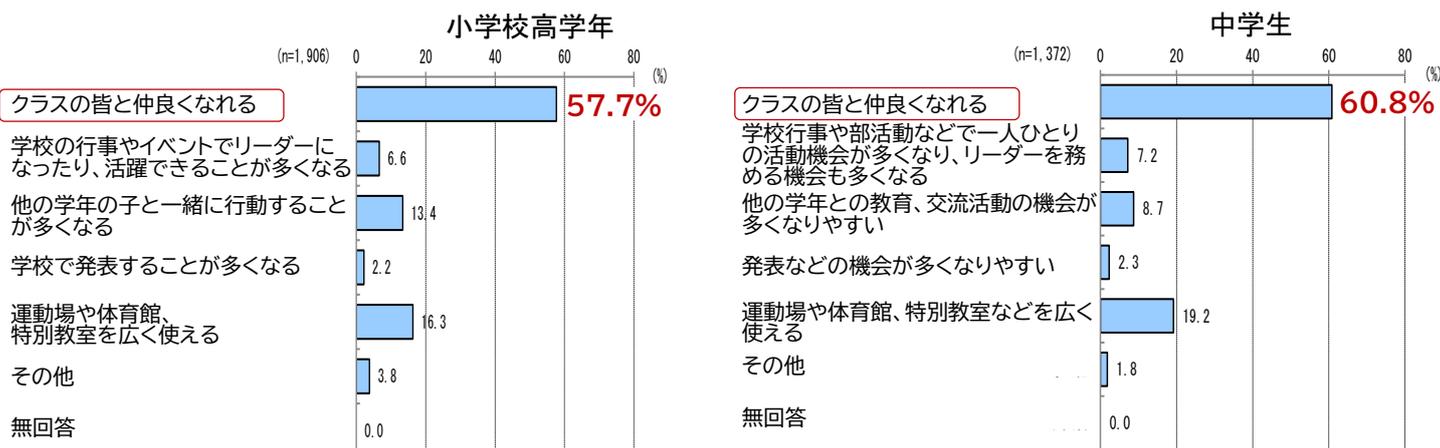
## <自由回答より>

- 私の地元で子供の頃は7クラスありました。友達の数も一気に増えた時期で色々な友人の意見や交流をもてました。大人になっても長く続く友人もいるので7クラスあっても良かったなと思います。
- クラス数が多いと、クラスでまとまりやすく団結しそう。クラス数が多いとひとクラスの人数が少なくなるので先生の目が届きやすくなりそう。
- 先生が生徒一人一人、ある程度見れる範囲だと思うから。今は1クラス多すぎます。

## <まとめ>

- 中学校1学年あたりの望ましいクラス数は、全ての属性において「4クラス」が望ましいとする回答が高い割合を占めていて、次に「3クラス」と「5クラス以上」が多い。
- 理由として「クラス替えができるから」、「色々な人の考え方に触れる機会があるから」が多く、複数のクラス数があることを望んでいる割合が高いことがわかる。
- 複数のクラス数を望む自由回答として、「トラブル(いじめ等)があった生徒同士が接触するのを回避できる」、「クラス数が多い方が1クラスの人数が少なく先生の目が届きやすく手厚く授業が受けられる」といった意見があった。一方で、2クラス以下を選んだ人の自由回答としては、「全体を把握しやすい」、「小さな学校小さなクラスの方が、学習意欲や態度が積極的になり、子ども達の間人間形成にとって効果的だと思われる」といった意見があった。

# ●1学年1クラスのメリット(当てはまるもの一つ)



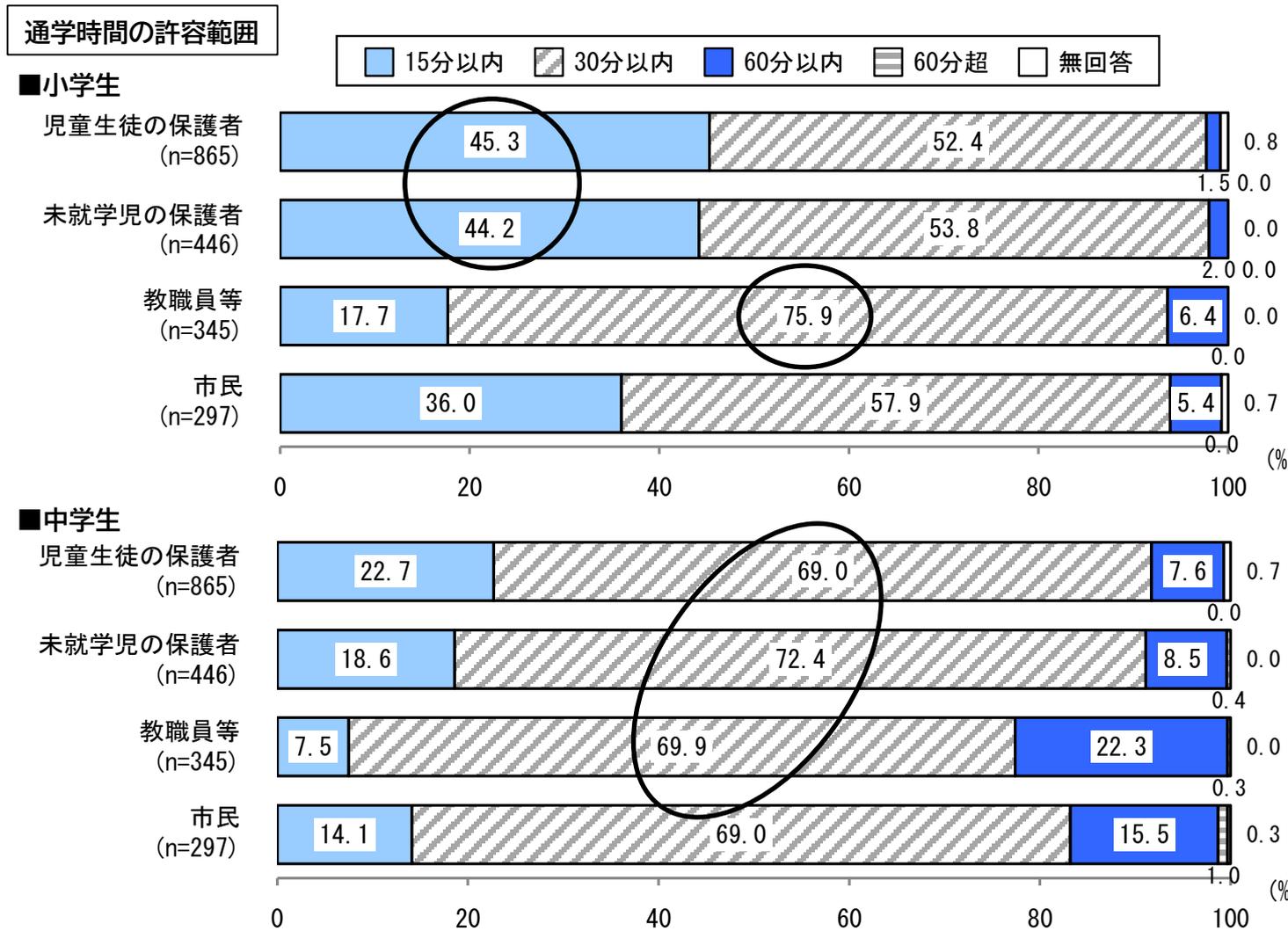
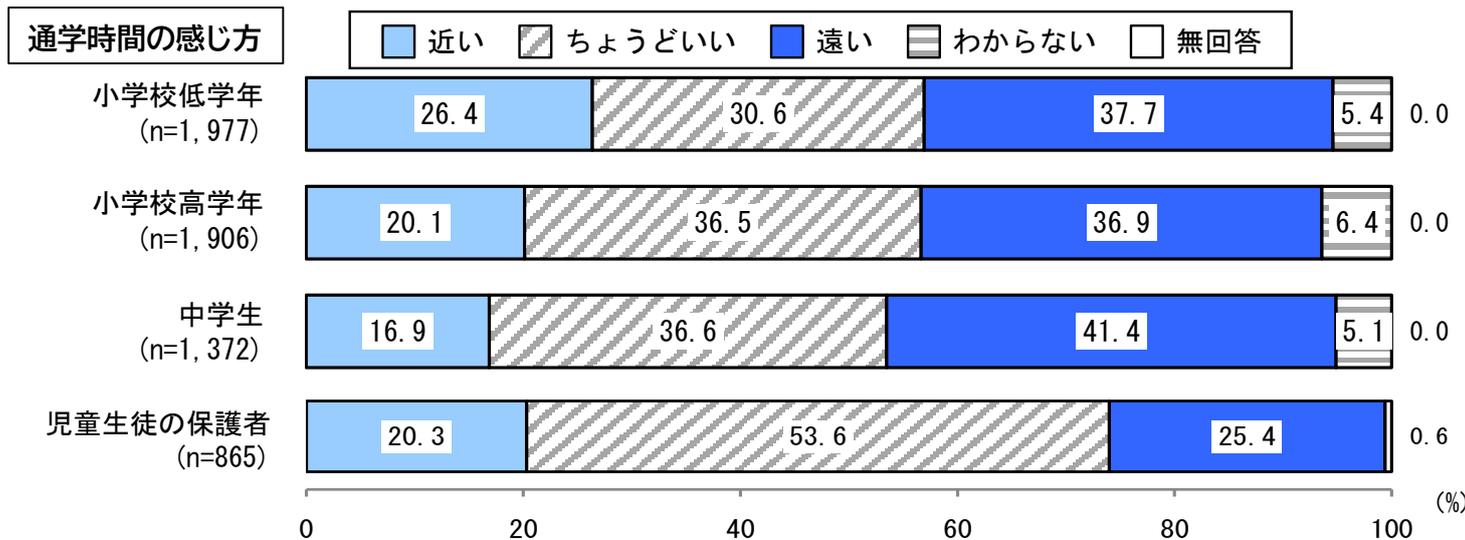
## <自由回答より>

- 少人数で1クラスなら、先生の目が届くからよい。
- 落ち着いて取り組むことができる。変更がききやすい。校外学習等で移動がしやすい。

## <まとめ>

- 全体的に全ての属性において、「クラスの皆と仲良くなれる」の回答割合が高い。属性別にみると教職員等では「学校行事や部活動などで一人ひとりの活動機会が多くなり、リーダーを務める機会も多くなる」が一番回答割合が高い。
- 保護者、教職員等、市民では「メリットはない」といった回答もそれぞれ20～30%程度あった。
- 自由回答も「仲の良い友人と卒業まで一緒にいることができる」や、「長く深い人間関係を築くことができる」など、人間関係が親密になるといった意見が多かった一方で、「いじめや苦手な人がいた場合、クラス替えがないので対応できない」といった意見も複数あった。

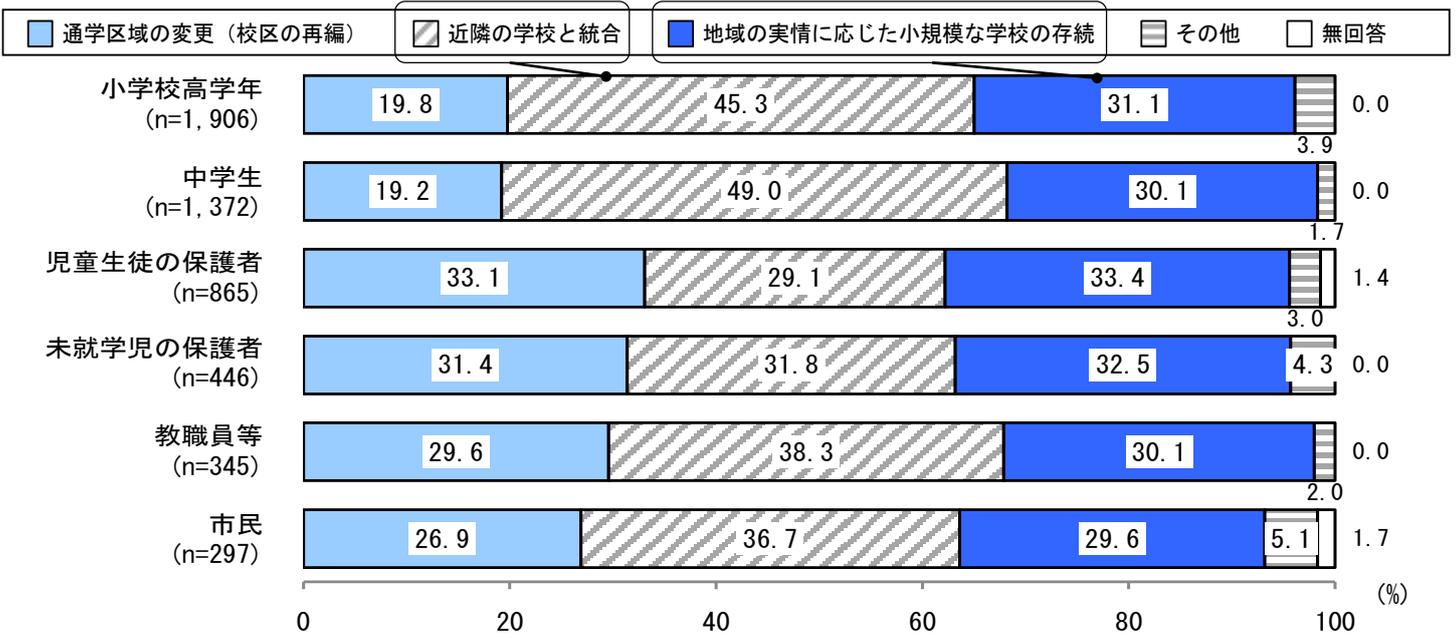
# ●通学時間の感じ方と通学時間の許容範囲(当てはまるもの一つ)



## <まとめ>

- 児童生徒の保護者は、こどもの通学時間を「ちょうどいい」と感じている割合が最も高いが、児童生徒は、現在の通学時間を「遠い」と感じている割合の方が「ちょうどいい」より高く、保護者と子ども達に感じ方の差がある。
- 小学生の通学時間の許容範囲は、「15～30分以内」がどの属性においても多いが、教職員等より保護者の方が「15分以内」と回答した割合が高く、考え方に差がある。
- 中学生の通学時間の許容範囲は、「15～30分以内」がどの属性においても最も多く、教職員等と保護者の間でも大きな割合の差は無い。

# ●児童生徒数の減少に対する最も望ましいと思う対策とその理由 (当てはまるもの一つ)



## <通学区の変更を選んだ理由>

- 支援の子が児童数にカウントされないので教室が生徒で缶詰状態。クーラーがない梅雨の時期に参観日に行ったが暑かった。
- 今の時代にあった校区なのか話あった上で今のままがいいのであれば現状維持でいいと思う。が、1つ横の小中学校に通える選択肢も作ればいいと思う。違う校区の学校の方が近いとか…。

## <近接の学校と統合を選んだ理由>

- 人数が少なくなっていく中で統合する事によって学校に元気が出ると思う。もしも統合したら戸惑う事もあると思うけど今よりもいろんな人達と出会うので楽しいことが多くなりいいと思う。
- 生徒数が多く、たくさんの人間関係を作り、いろんな経験して成長し、いいことはもちろん、苦しい想いもしり、社会で打ち勝てる精神力を作してほしい。

## <地域の実情に応じた小規模な学校の存続を選んだ理由>

- 少人数なので、先生が目も行き届きやすく、子ども一人ひとりに対して丁寧に対応して下さる。
- 統合し、通学距離や時間が長くなれば、犯罪に巻き込まれやすくなる為。昨今の変出者の思考は複雑化しており、男児女児問わず狙われる小児愛者も増えている事がとても不安な為。

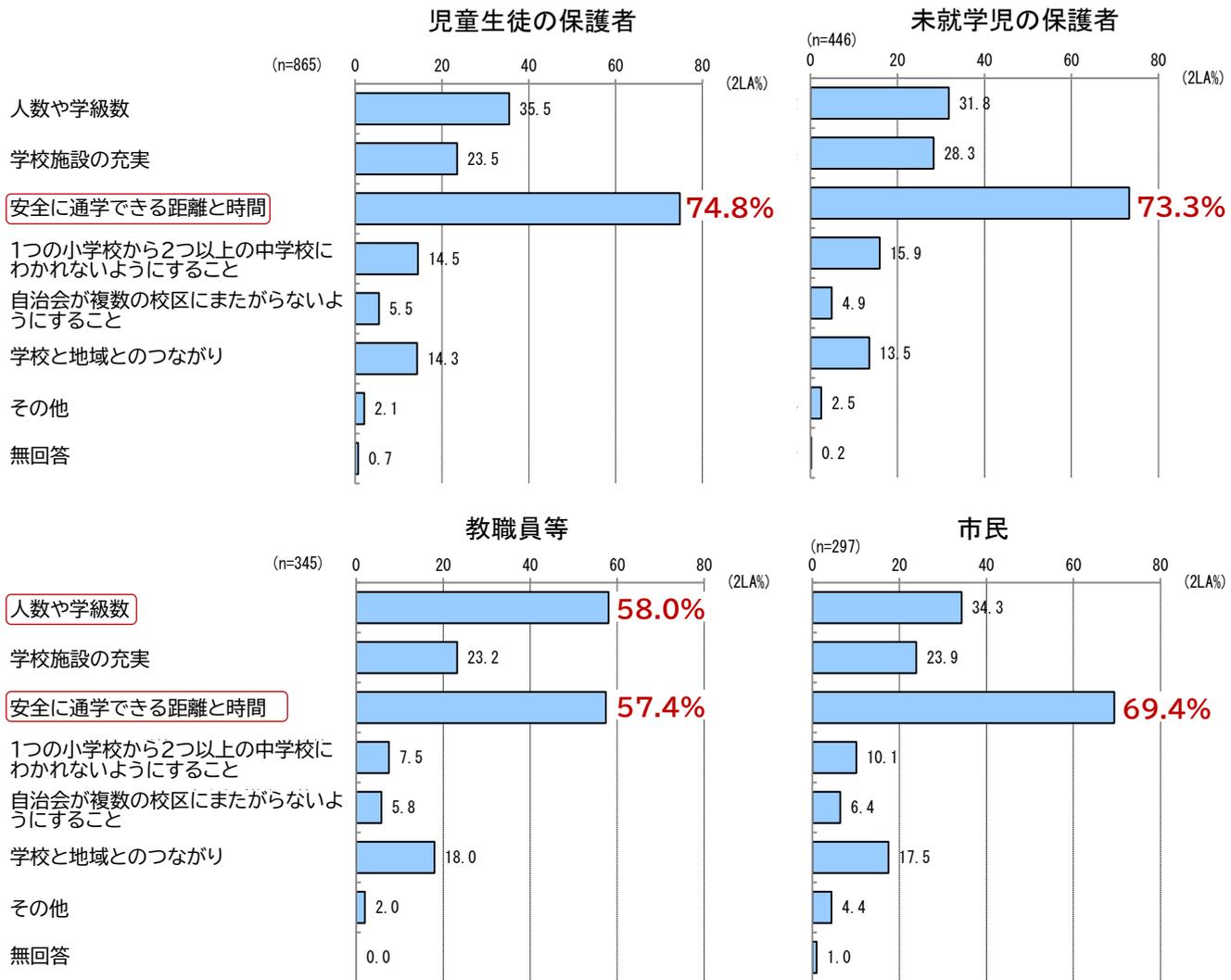
## <その他を選んだ理由>

- 高砂地区は中学でどこの小学校とも混ざらないので、新しい友人関係の構築に乏しく部活の数も少なく子ども可能性の幅が狭まる。
- 高砂は小さい市ですが、車さえあれば住み良い場所だと思う。ただ、明石市のように子育て世帯が「住みたい！」と思える理由がない。水道料金が安いくらい。こんなに工場地帯なのだから、そこに勤めている子育て世帯が、子育ての間だけでも住みたいと思えるような政治政策を行えば、少しは人口増加につながるのでは？

## <まとめ>

- 未就学児の保護者は3つの回答が概ね均等な割合となっているが、児童生徒は「近隣の学校と統合」が多く、次いで「地域の実情に応じた小規模な学校の存続」となっている。
- その他の回答として、「子育て支援策の充実や、高砂市の魅力を発信し、人口増を図る」「小中一貫校にして統合する」「校区を再編または撤廃し、合わせて必要であれば近隣の学校と統合する」「中学校は校区を撤廃、小学校は統合」「市を越えた校区再編、統合」などの意見があった。

# ●人数の少ない学校の対策を考える上で大切なこととその理由 (2つまで)



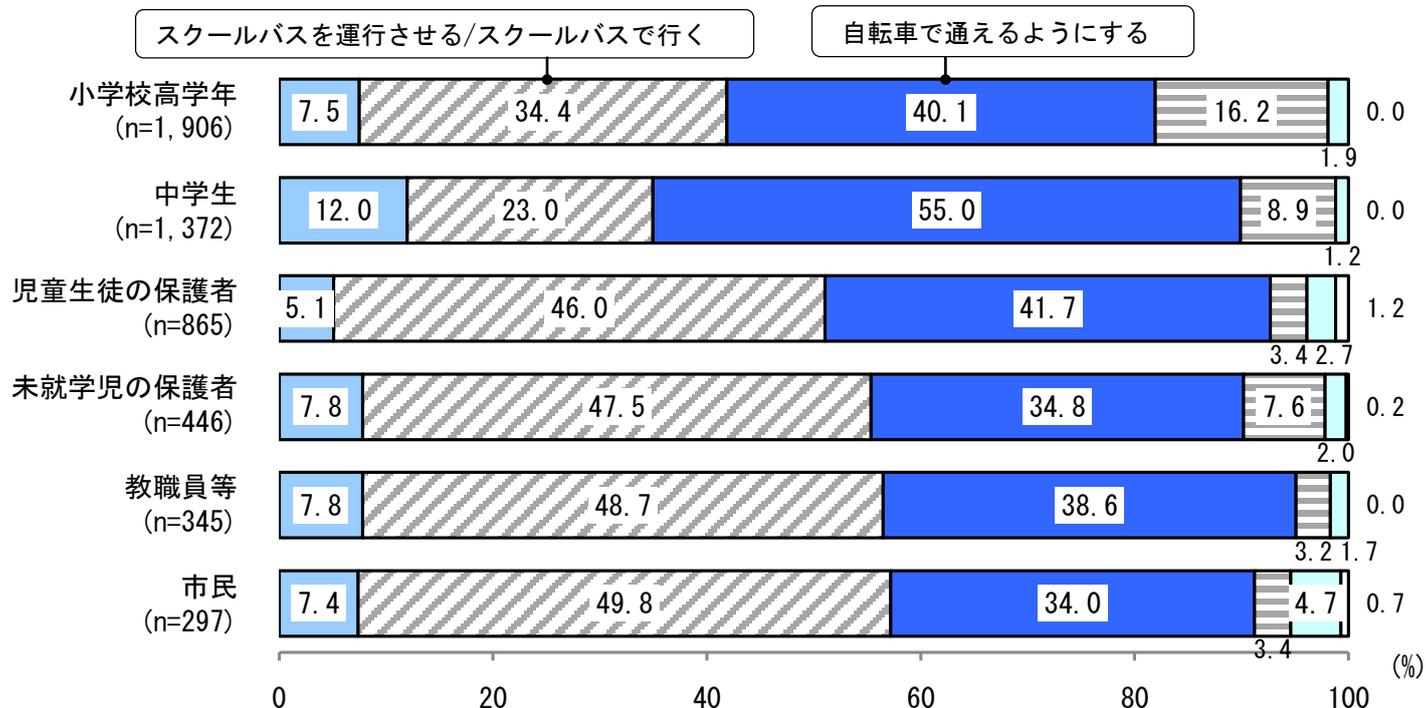
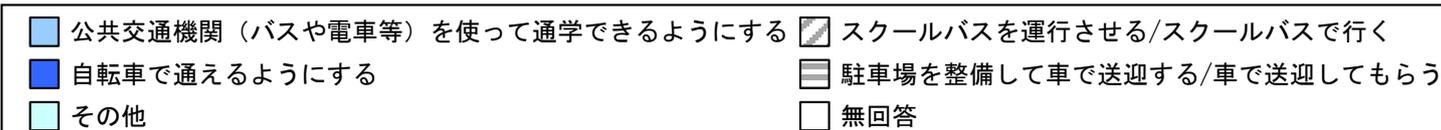
## <人数の少ない学校の対策を選択した理由>

- 子どもの安全と、学校生活が充実するかどうか大切に考えるため。どんな区切りにするか、分かれるかなどの状況は、子供達は新環境に適應出来ると思う。そこは、適應できる子に育てる方が良いと思う。
- 学校の中に学童をつくることや、エアコンのない部屋にもエアコンをつける。夏は暑すぎる遠いと熱中症のリスクが上がる。1時2時3時の下校は遠いと倒れる。苦手科目や、宿題や特別レッスンを時間の早い下校時、や夏休み、教室で、教えて欲しい。家では、宿題は嫌がる、解らない所は放置している。
- 仲の良い子が住んでる地域で中学校が離れるのは可哀想。
- 学校毎に特色があってもいいと思う。高砂は海も山もあるし地域に合った特色は出せる、スポーツに力を入れた学校があってもいいと思う。
- 安全に生活する上でコミュニケーションが大切だと思うから。

## <まとめ>

- 全体的に全ての属性において、「安全に通学できる距離と時間」の回答割合が高いが、教職員等では「人数や学級数」の回答割合が最も高い。次いで「学校施設の充実」の回答割合が高いが、「学校の地域とのつながり」は優先度が低い。
- その他の回答として、「行事などの格差が出ないようにすること」「教師に負担のかからない人数編成のクラスを作ること」「職員数の充実」「義務教育学校の設立」「いじめ対策」などの意見があった。

## ●徒歩通学が難しい場合の対策(当てはまるもの一つ)



### <自由回答より>

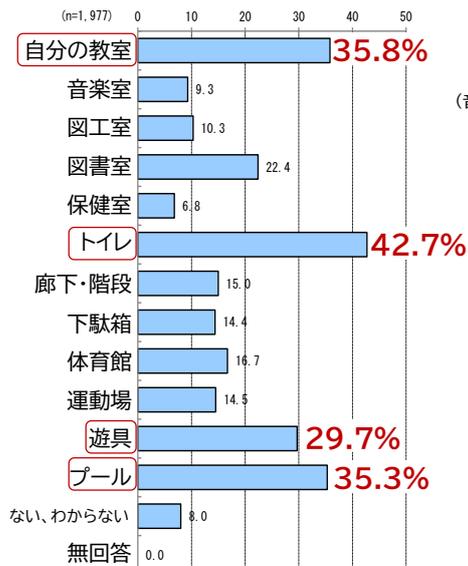
- ・ 自転車と車で送り迎えしてもらう。
- ・ スクールバスや自転車で通う。
- ・ 低学年や体力の無い子の為にスクールバスは必要。自転車通学はどの距離であっても部活動等時間に限りがある子どもや体力が無い子の為に使用に制限をかけないようにする。
- ・ 安全面によりますが、できるだけ自分からで通えるように公共機関、自転車を利用すると思います。
- ・ 小学生で自転車は危ないので無しですが、それ以外の全てが可能になると保護者も選択ができて有難いなと思います。最寄りにバスがない子はスクールバスや親の送迎、親の出勤時間と学校開始時間が合わない子はバスやスクールバスなど。
- ・ 自転車にするにも、安全に移動できる道の整備が必要。難しいならスクールバスも期待したい。
- ・ 全ての生徒がスクールバスなどを利用するのは人数の関係で難しいのではないかと考える。低学年はスクールバス、高学年は自転車といったように、学年によって分けてはどうか。
- ・ 中学生は自転車通学で良いと思うが、小学生は安全面では厳しい。その場合は状況によりスクールバス。

### <まとめ>

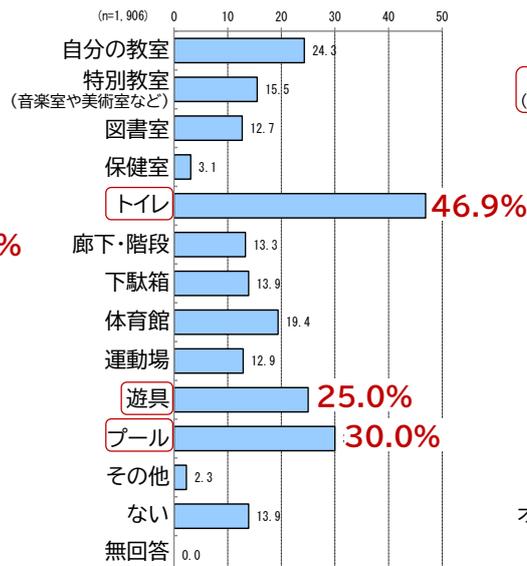
- ・ 児童生徒の回答は、「自転車で通えるようにする」が多く、保護者、教職員等、市民の回答は「スクールバスを運行させる」が多い。バスについてはコミュニティバスよりスクールバスの方を望んでいることがわかる。
- ・ その他の回答として、「中学生は自転車通学、小学生はスクールバス」「様々な通学方法を認める」「コミュニティバスを活用する」などの意見があった。

# ●学校の建物で改善してほしい場所(3つまで)

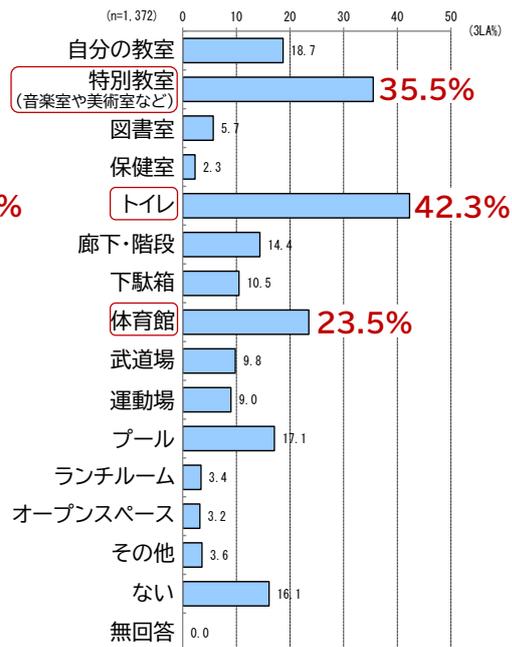
## 小学校低学年



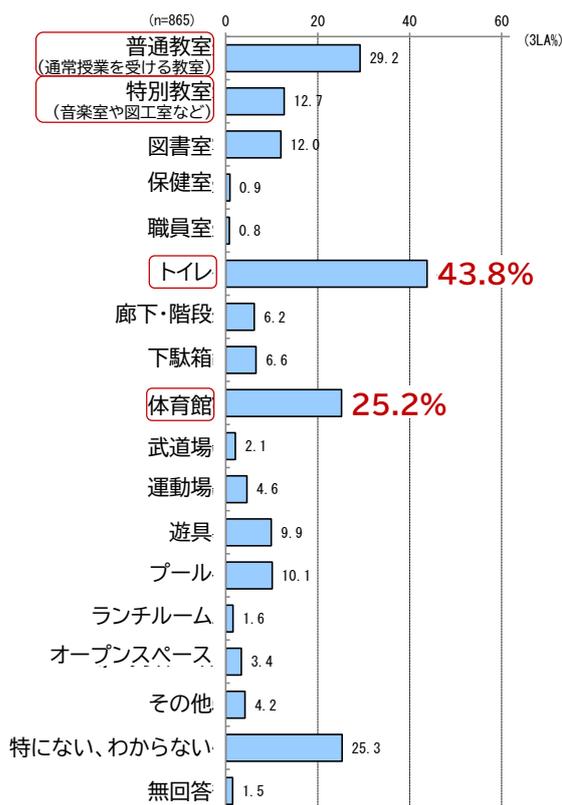
## 小学校高学年



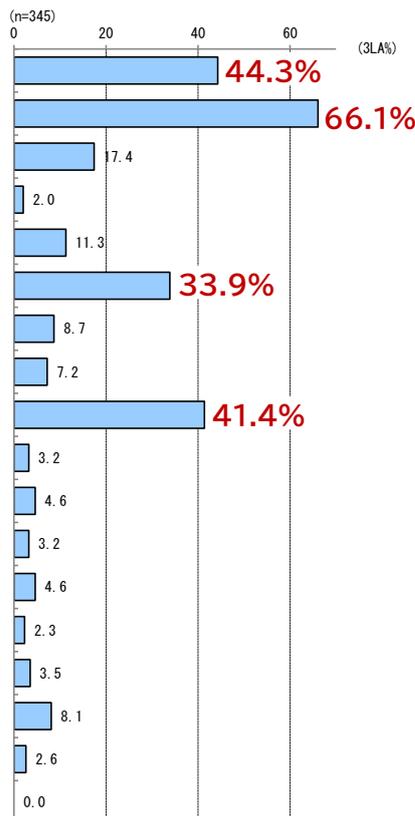
## 中学生



## 児童生徒の保護者



## 教職員等

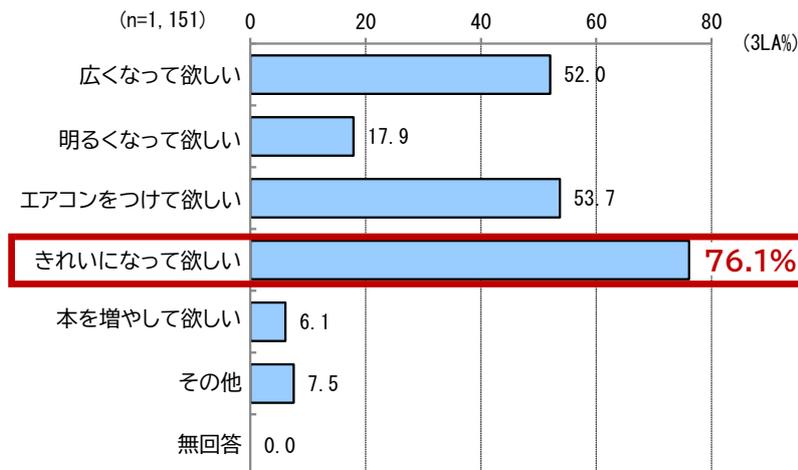


### <まとめ>

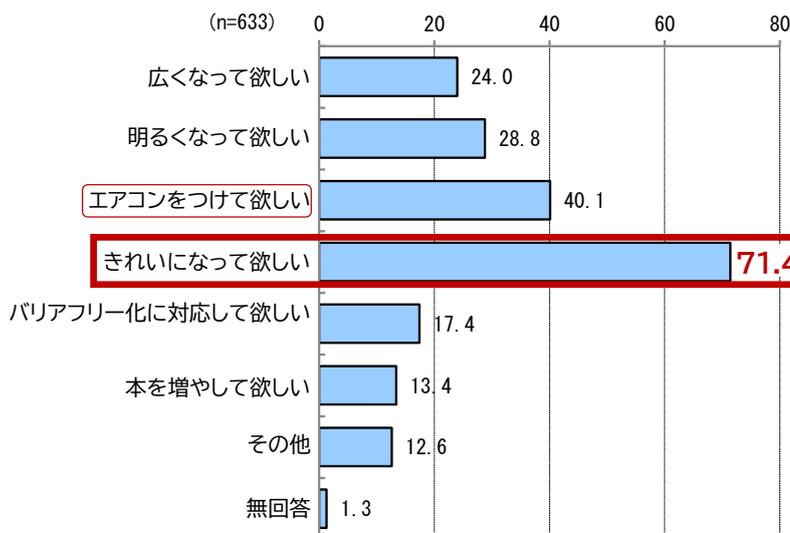
- ・ 児童生徒では「教室」「トイレ」「体育館」「プール」「遊具」などが多い。
- ・ 保護者、教職員等では「教室」「トイレ」「体育館」が多くなっている。
- ・ その他の回答として、「校舎全体」「ロッカー」「駐車場・駐輪場」「校庭・中庭」「給食室」などの意見があった。

## ●学校の建物についてどのように改善してほしいか(3つまで)

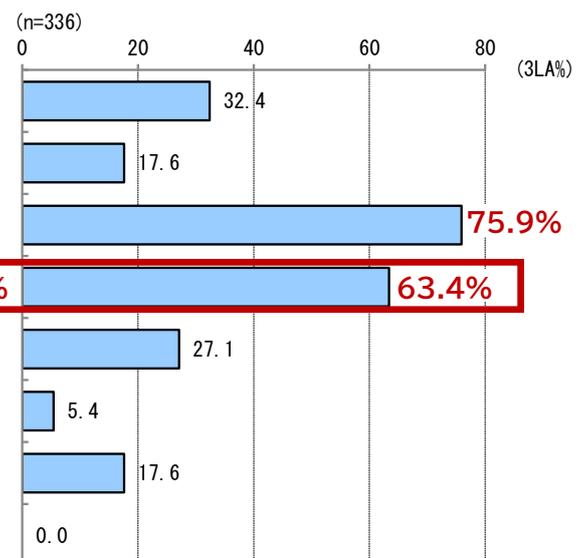
### 中学生



### 児童生徒の保護者



### 教職員等



### <自由回答より>

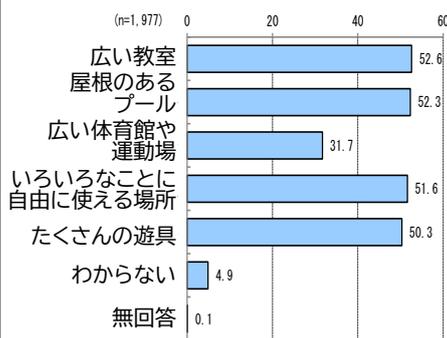
- ・ 体育館にクーラーをつけてほしい。
- ・ 天井を今より高くして圧迫感の軽減 建物全体的に柔らかい色や素材使いで温かい雰囲気になれば。
- ・ 免震構造ができていないのならばいいと思う。外観が寒々しいので、ベージュなどあたたかい色に塗装するのもいいと思う。

### <まとめ>

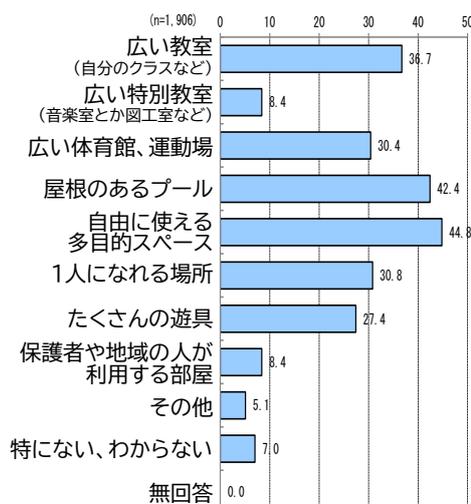
- ・ 全体的に、「きれいになって欲しい」「エアコンをつけて欲しい」「広くなって欲しい」が多い。
- ・ その他の回答として、「椅子や机がぐらぐらしないようにしてほしい」「学校全体をきれいにして欲しい」「男子更衣室が欲しい」「天井の雨漏りを直してほしい」などの意見があった。
- ・ 前ページの回答と合わせると、「特別教室や体育館のエアコンをつけて欲しい」「トイレがきれいになって欲しい」「教室が広くなって欲しい」「プールをきれいにして欲しい」などの意見があった。

# ●学校に必要だと思えるもの(3つまで)

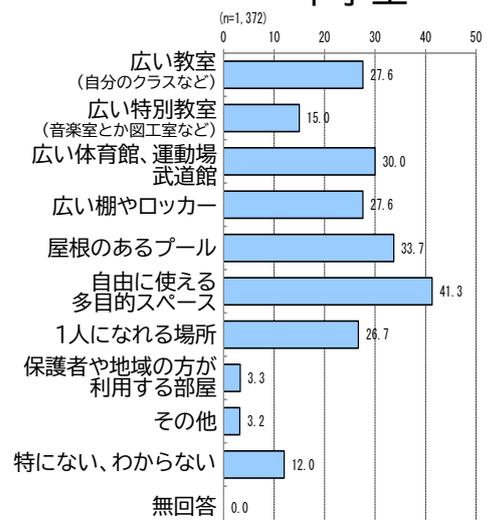
## 小学校低学年



## 小学校高学年



## 中学生

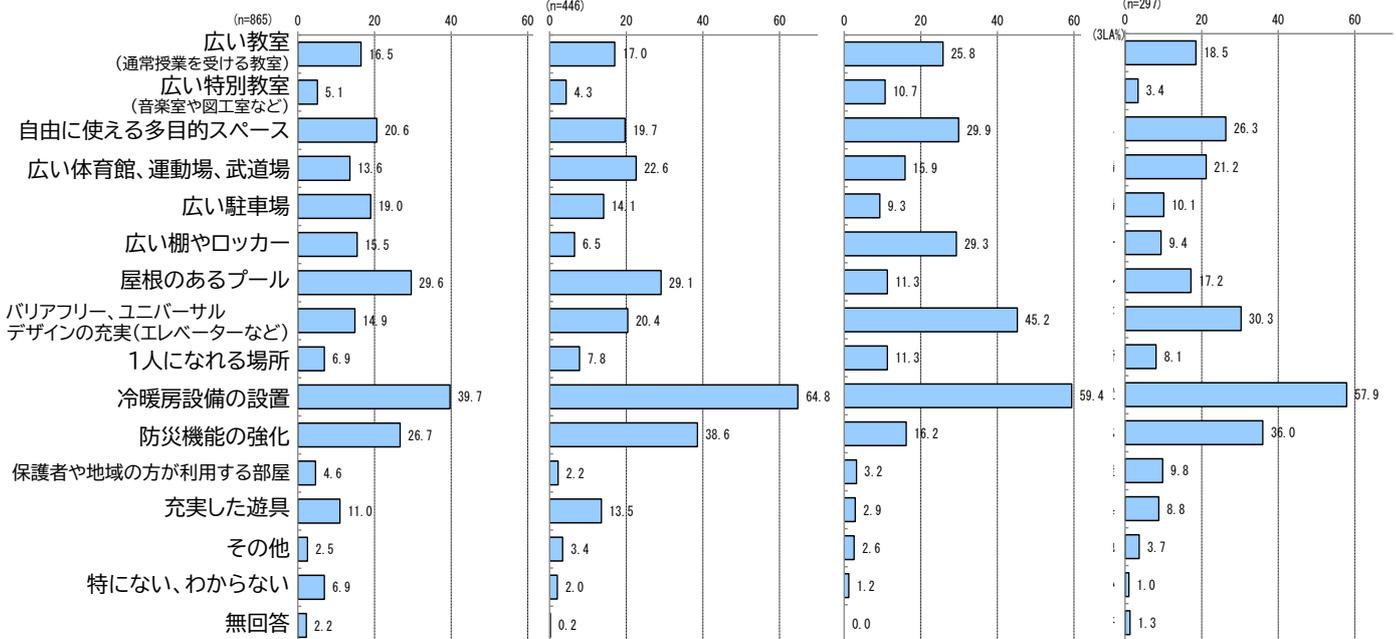


## 児童生徒の保護者

## 未就学児の保護者

## 教職員等

## 市民



### <自由回答より>

- 固定の壁で区切らず、広く使いたい時には広くできるように動かせる扉などで空間を仕切れるようにする。
- 広さより、集中する時、友達と楽しく過ごす時、先生に相談したい時、1人でゆっくりしたい時など、状況にあった空間があると、子供も先生も、気持ちを切り替えやすいと思う。

### <まとめ>

- 小学生は、「自由に使える多目的スペース」「屋根のあるプール」「広い教室」が多い。
- 中学生では、「自由に使える多目的スペース」「屋根のあるプール」「広い体育館、運動場、武道館」の順が多い。
- 保護者、教職員等、市民では「冷暖房設備の設置」が最も多く、「屋根のあるプール」や「バリアフリー、ユニバーサルデザインの充実(エレベーターなど)」も多い。
- その他の回答として、「屋上の開放」「大きな図書室」「自習室」「各スポーツ専用の場所」「洋式トイレ」「防犯設備」「特別教室や体育館のエアコン設置」などの意見があった。

